

2021年4月5日
日本アルコール産業株式会社
代表取締役社長 小辻 良文

安定供給基盤強化のための投資について

弊社では、安定供給基盤の強化を目指し、計画的に以下の投資を行ってまいりましたが、今般、新たに鹿島工場新系列増強投資のEPC先を三菱ケミカルエンジニアリング(株)とし、契約内容の細部を固めることとなりましたのでお知らせいたします。

これをもって、安定供給基盤の強化のための一連の投資(約140億円)は、2024年3月に完了する見込みとなりました。

コロナウイルスの影響などにより、アルコール市場の需給バランスが不安定になる中、お客様に安心して弊社のアルコールをお使い頂けるよう、今後とも安定供給基盤の強化に努めてまいります。

なお、原料基地についても、ウルサンに2万5千KLの賃借契約を新たに締結し、国内外併せて14万5千KLの原料保有能力を有することになります。

<既存設備能力増強投資>

- 鹿島工場99度生産設備能力増強 2021年10月 完成予定
- 出水工場蒸留塔能力増強 2021年12月 完成予定

<原料・製品タンク増強投資>

- 袖ヶ浦作業所タンク更新及び出荷設備整備 2022年3月 完成予定
- 磐田工場製品タンク新設 2022年3月 完成予定
- 出水工場製品タンク新設 2022年10月 完成予定

<鹿島工場新系列増強投資>

- 鹿島工場製品船出荷設備新設 2019年12月 竣工
- 鹿島工場原料・製品タンク新設 2022年10月 完成予定
- 95度・99度生産設備300KL/D系列増強 2024年3月 完成予定

<ウルサン賃借契約>

- 新規原料タンク賃借契約(2万5千KL) 2021年7月より

【鹿島工場新系列増強投資】

